
料金見直し等に関する取組状況について

ICTサービス安心・安全研究会
モバイルサービスの提供条件・端末に関するフォローアップ会合

2016年10月13日
株式会社NTTドコモ

1. スマートフォン料金の動向

2. SIMロック解除ガイドライン改正後の動向

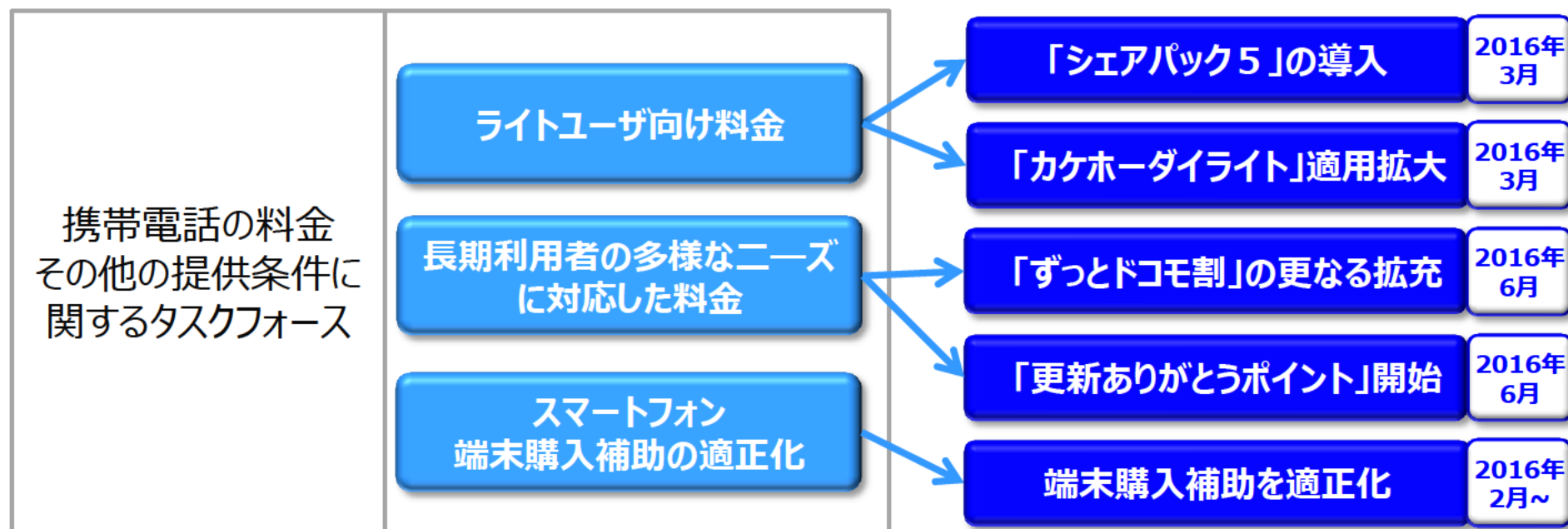
3. 端末購入補助ガイドライン適用後の状況

4. MVNOの競争環境の動向

- お客様の多様なニーズ、タスクフォースの提言内容を踏まえ、家族を軸により使いやすい料金・サービスに見直し

タスクフォースにおける主な提言内容

これまでの取り組み



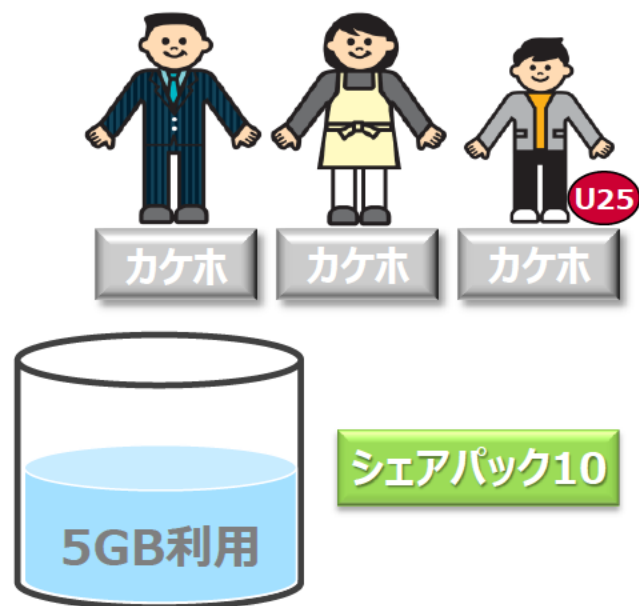
■データ通信のご利用が少ないお客様向けのプランとして「シェアパック 5」を追加

ポケットパック名称	月額料金
ウルトラシェアパック100	25,000円
ウルトラシェアパック50	16,000円
シェアパック15	12,500円
シェアパック10	9,500円
シェアパック5	6,500円

- 通話とデータ通信の利用量にあわせて自由にプランを組み合わせご利用いただけるよう、カケホーダイライトの適用を拡大

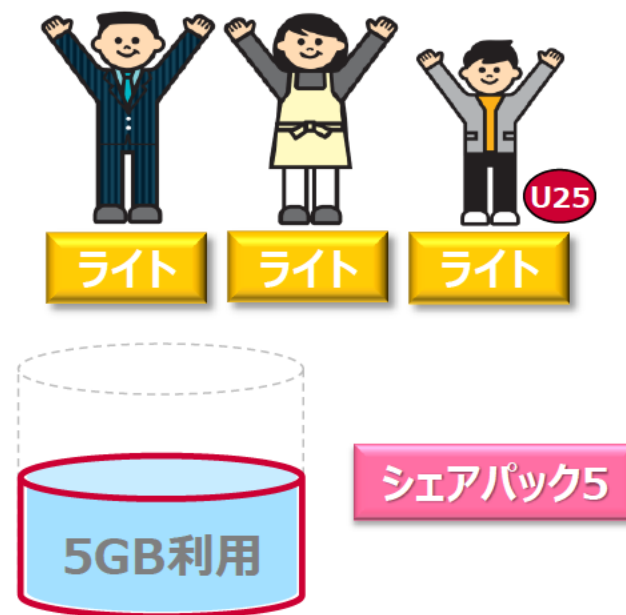
パケットパック名称	カケホーダイライト 適用
ウルトラシェアパック100	○
ウルトラシェアパック50	○
シェアパック15	○
シェアパック10	× → ○
シェアパック5	○

これまで



18,000円/月

ライトユーザ向けプラン提供後



12,700円/月

年間約6.4万円の家計負担軽減！

「シェアパック5」の導入

シェアパック5



シェアパック5契約数

* 9月末現在

170万
契約

「カケホーダイライト」適用拡大

カケホーダイライト



シェアパック5

シェアパック10



シェアパック5・10に占める
カケホーダイライト選択率

* 8月実績

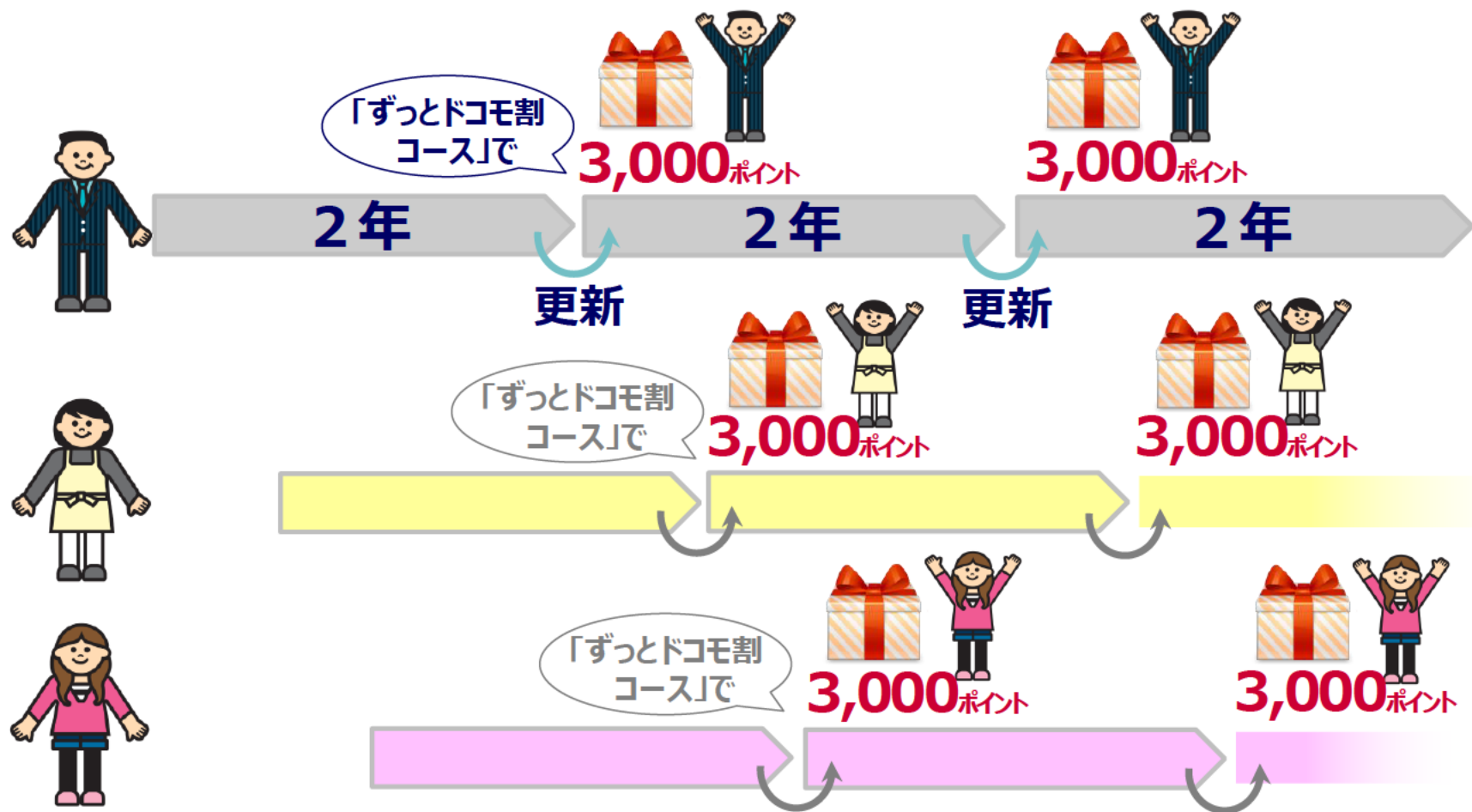
約5割

- 適用時期の早期化 : 継続利用4年以上から割引適用
- 割引額の増額 : 最大割引額を2,500円に増額
- 適用範囲の拡大 : シェア5、Mパック、Lパックへの割引適用を4年以上、8年以上にも拡大

ポケットパック名称	4年以上	8年以上	10年以上	15年以上
ウルトラシェアパック100	▲1,000	▲1,200	▲1,800	▲2,500
ウルトラシェアパック50	▲800	▲1,000	▲1,200	▲1,800
シェアパック15	▲600	▲800	▲1,000	▲1,200
シェアパック10	▲400	▲600	▲800	▲1,000
シェアパック5	▲100	▲200	▲600	▲800
ウルトラデータLLパック	▲200	▲400	▲600	▲800
ウルトラデータLパック	▲100	▲200	▲600	▲800
データMパック	▲100	▲200	▲600	▲800
データSパック	—	—	—	▲600

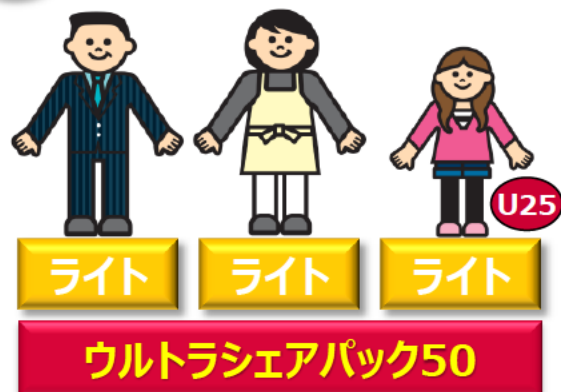
割引額の
増額適用時期の
早期化適用範囲の
拡大

- 2年定期契約を更新していただいたお客様に対して、dポイント3,000ポイントをプレゼント



契約年数が短いお客さま

代表 契約年数1年



ずっと
ドコモ割

適用なし

契約年数が長いお客様

代表 契約年数15年



ずっと
ドコモ割

▲1,800円/月

d POINT

更新ありがとう
ポイント

9,000Pt/2年

年間約2.6万円の還元！

「ずっとドコモ割」の更なる拡充



「ずっとドコモ割」
適用者数
*9月末現在

約2,300万
(新料金契約者 3,300万)

「更新ありがとうポイント」開始



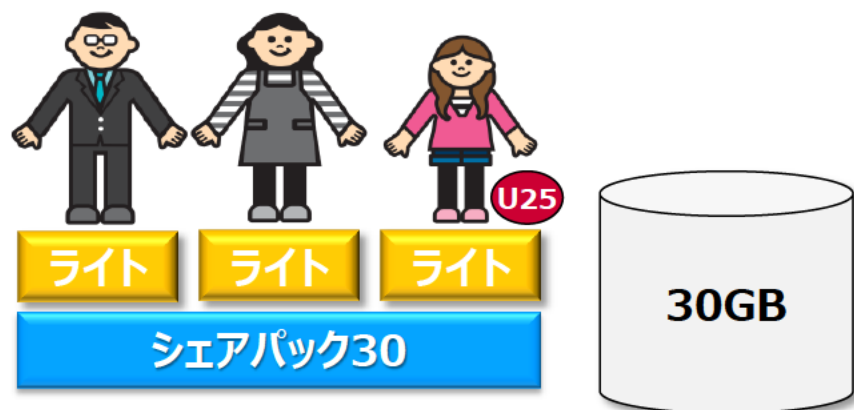
「更新ありがとうポイント」
権利獲得者数
*9月末現在

約400万

- 2016年9月から、ヘビーユーザ向けに「ウルトラシェアパック」、「ウルトラデータパック」を提供開始
- 「ずっとドコモ割」に加え、ドコモ光契約者は「ドコモ光セット割」も適用

パケットパック名称	利用可能 データ量	月額料金	「ずっとドコモ割」適用後 月額料金				ドコモ光 セット割 (戸建の場合)
			4年以上	8年以上	10年以上	15年以上	
ウルトラシェアパック100	100GB	25,000円	24,000円	23,800円	23,200円	22,500円	▲3,200円
ウルトラシェアパック50	50GB	16,000円	15,200円	15,000円	14,800円	14,200円	▲2,500円
シェアパック15	15GB	12,500円	11,900円	11,700円	11,500円	11,300円	▲1,800円
シェアパック10	10GB	9,500円	9,100円	8,900円	8,700円	8,500円	▲1,200円
シェアパック5	5GB	6,500円	6,400円	6,300円	5,900円	5,700円	▲800円
ウルトラデータLLパック	30GB	8,000円	7,800円	7,600円	7,400円	7,200円	▲1,100円
ウルトラデータLパック	20GB	6,000円	5,900円	5,800円	5,400円	5,200円	▲900円
データMパック	5GB	5,000円	4,900円	4,800円	4,400円	4,200円	▲800円
データSパック	2GB	3,500円	3,500円	3,500円	3,500円	2,900円	▲500円

これまで



27,000円/月

ヘビーユーザ向けプラン提供後



21,200円/月

年間約7.0万円の家計負担軽減！

1. スマートフォン料金の動向

2. SIMロック解除ガイドライン改正後の動向

3. 端末購入補助ガイドライン適用後の状況

4. MVNOの競争環境の動向

- 当社は2010年のSIMロック解除ガイドラインに基づき、お客様の利便性向上のため他社に先駆けてSIMロック解除を行っており、昨年のガイドライン改正にも引き続き対応
- 過去にSIMロック解除の実績がある場合は、**新たに端末を購入した直後であってもSIMロック解除可能にすることで利便性にも配慮**
- また、**当社のネットワークを利用するMVNOにおいては、SIMロック解除することなく、ご利用頂いている状況**
- 更なるガイドラインの見直しにあたっては、端末の分割払い金ที่ไม่払いになるような「不正」や「悪用」を防止する観点も踏まえた検討が必要

◆ ドコモのSIMロック解除

SIMロック解除は端末お買い上げ後6ヶ月を経過している場合、又は過去にSIMロック解除の実績がある場合には、以下の何れかの方法で手続きが可能



※ご利用料金のお支払実績が確認できていることなどの条件があります

※お電話、ドコモショップでの手続きは、一部機種を除き有料（3,000円）となります

1. スマートフォン料金の動向
2. SIMロック解除ガイドライン改正後の動向
3. 端末購入補助ガイドライン適用後の状況
4. MVNOの競争環境の動向

- 「スマートフォンの端末購入補助の適正化に関するガイドライン」の趣旨に則り、利用者間の不公平感を是正に向け、**料金・サービスを中心とした競争にシフトすべく、当社は率先して端末購入補助の適正化に努めてきた**
- 10月7日 **dカードGOLD会員向けクーポン施策が不適正な端末購入補助にあたる**として、総務省より行政指導を受けた

◆2015年12月18日：【総務省】スマートフォンの料金及び端末販売に関して講ずべき措置について（要請）

2016年2月1日	端末価格が 0円を下回らない ように見直し
-----------	------------------------------

◆2016年 2月 2日：【総務省】「スマートフォンの端末購入補助の適正化に関するガイドライン（案）」意見募集

◆2016年 3月25日：【総務省】「スマートフォンの端末購入補助の適正化に関するガイドライン（案）」意見募集結果の公表

2016年4月1日	端末割引を縮小し、端末価格が 648円以上 となるように見直し
-----------	--

◆2016年 4月 1日：【総務省】「スマートフォンの端末購入補助の適正化に関するガイドライン」施行

◆2016年 4月 5日：【総務省】「スマートフォンの端末購入補助の適正化に関するガイドライン」に沿った端末購入補助の適正化等について（要請）

2016年4月28日	在庫処分、マイグレーションを除く端末価格が 10,368円以上 となるように見直し
------------	--

◆2016年10月7日：【総務省】「スマートフォンの端末購入補助の適正化に関するガイドライン」に沿った
端末購入補助の適正化について（厳重注意・報告徴求）

- dカードGOLD会員向け「ケータイ購入ご優待券」は、クレジットサービスの魅力度向上を目的としてdカードGOLD年会費(10,800円)のお支払いや、年間ご利用額100万円以上など、dカードGOLD会員のご負担に基づき、会員様への感謝の気持ちから還元しているものであり、電気通信ビジネスの一環で実施されているような一般的なクーポンとは異なるものであると考えていた
- また、ガイドラインの趣旨に記載されている「端末購入を条件とした割引等を受けない利用者との公平性の観点」においても、ガイドラインの趣旨に反するものではないと考えて実施してきたところ
- 今回の総務省による指導を真摯に受け止め、適切に対応する

◆ dカードGOLDにおける会員様負担とご優待金額

区分	年会費	年間 ご利用額	ご優待金額	発行 枚数
初年度	1万円	－	5,400円	91%
2年目 以降		100万以上	10,800円	6%
		200万以上	21,600円	3%

◆ 10月販売上位3機種における実質負担額(機種変更)

	iPhone7 (128GB)	Xperia X Performance	iPhone7 (32GB)
5,400円適用	22,248	32,184	10,584
10,800円適用	16,848	26,784	5,184
21,600円適用	6,048	15,984	▲5,616
【参考】 クーポン適用なし	27,648	37,584	15,984

指摘
事例

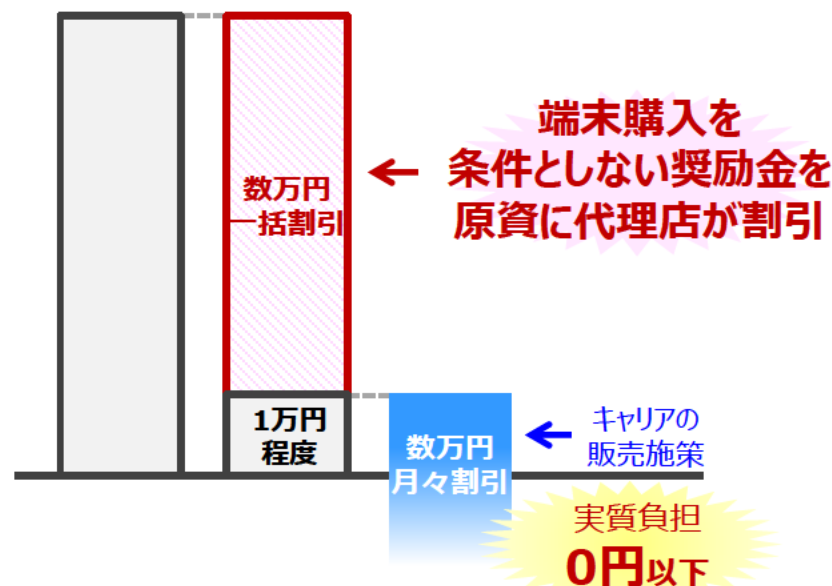
*「家族まとめて割」、その他機種変更特典を全て重畳した場合の最安価格

- 端末購入を条件としない回線販売等の奨励金については端末購入補助の対象外とされているが、**実質的に端末購入補助となり得ることが否定できず**、キャリア販売施策との組み合わせによりiPhone6s等の機種の実質負担額が0円以下となるケースも散見される
- **実質的に端末購入補助となるような回線販売等の奨励金をガイドラインで定義し、“抜け道”を塞ぐべき**

◆ガイドライン上の端末購入補助の範囲

	キャリアによる 直接補助		代理店による補助 (奨励金)
端末購入を 条件とするもの	×		×
端末購入を 条件としないもの	MNP 解約新規	×	○
	純粋新規 マイグレ	○	

×・・・端末購入補助に該当する
○・・・端末購入補助に該当しない



■ “抜け道”を塞ぐべき奨励金（例）

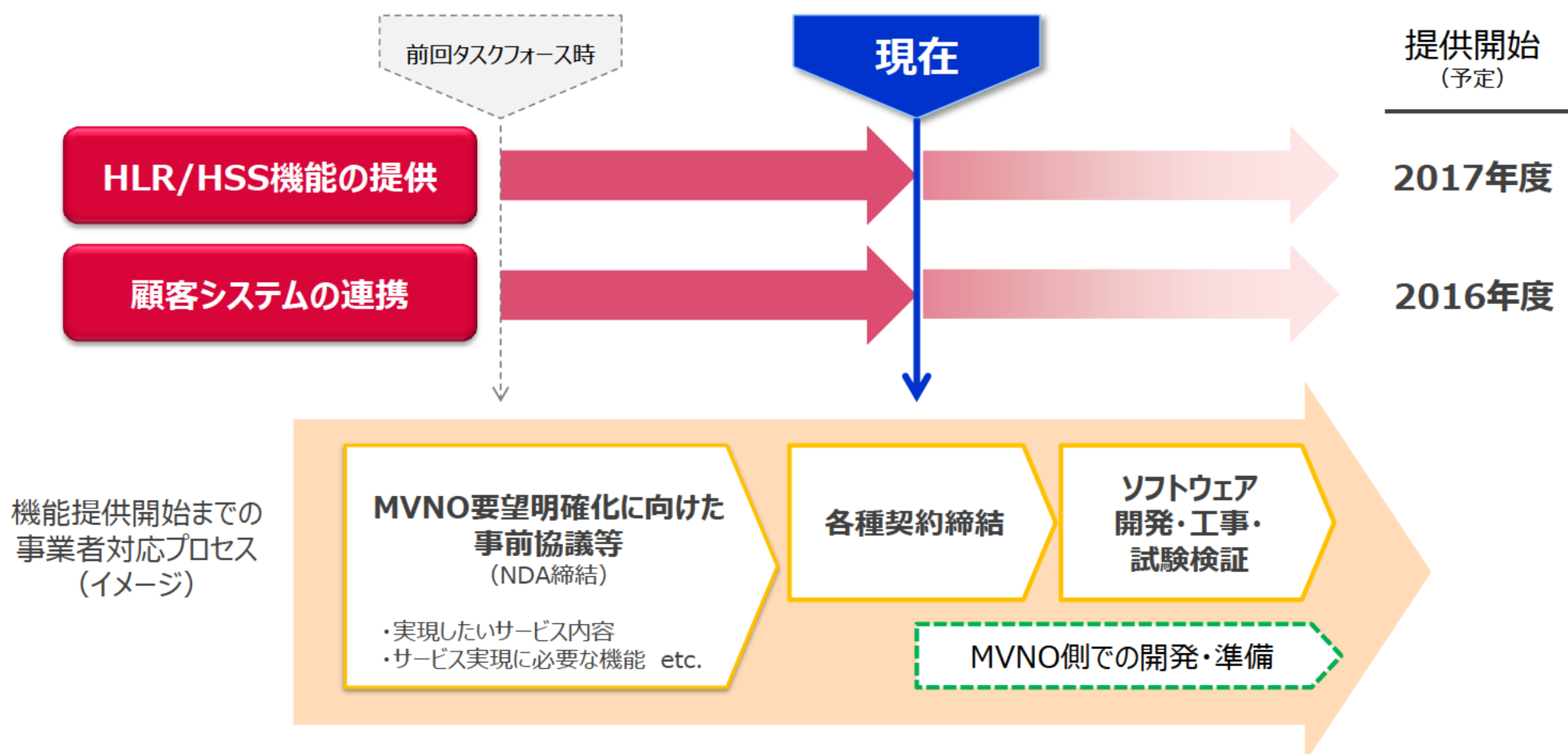
- ・期間限定の販売奨励金
- ・高プラン加入を条件とした販売奨励金 等

1. スマートフォン料金の動向
2. SIMロック解除ガイドライン改正後の動向
3. 端末購入補助ガイドライン適用後の状況
4. MVNOの競争環境の動向

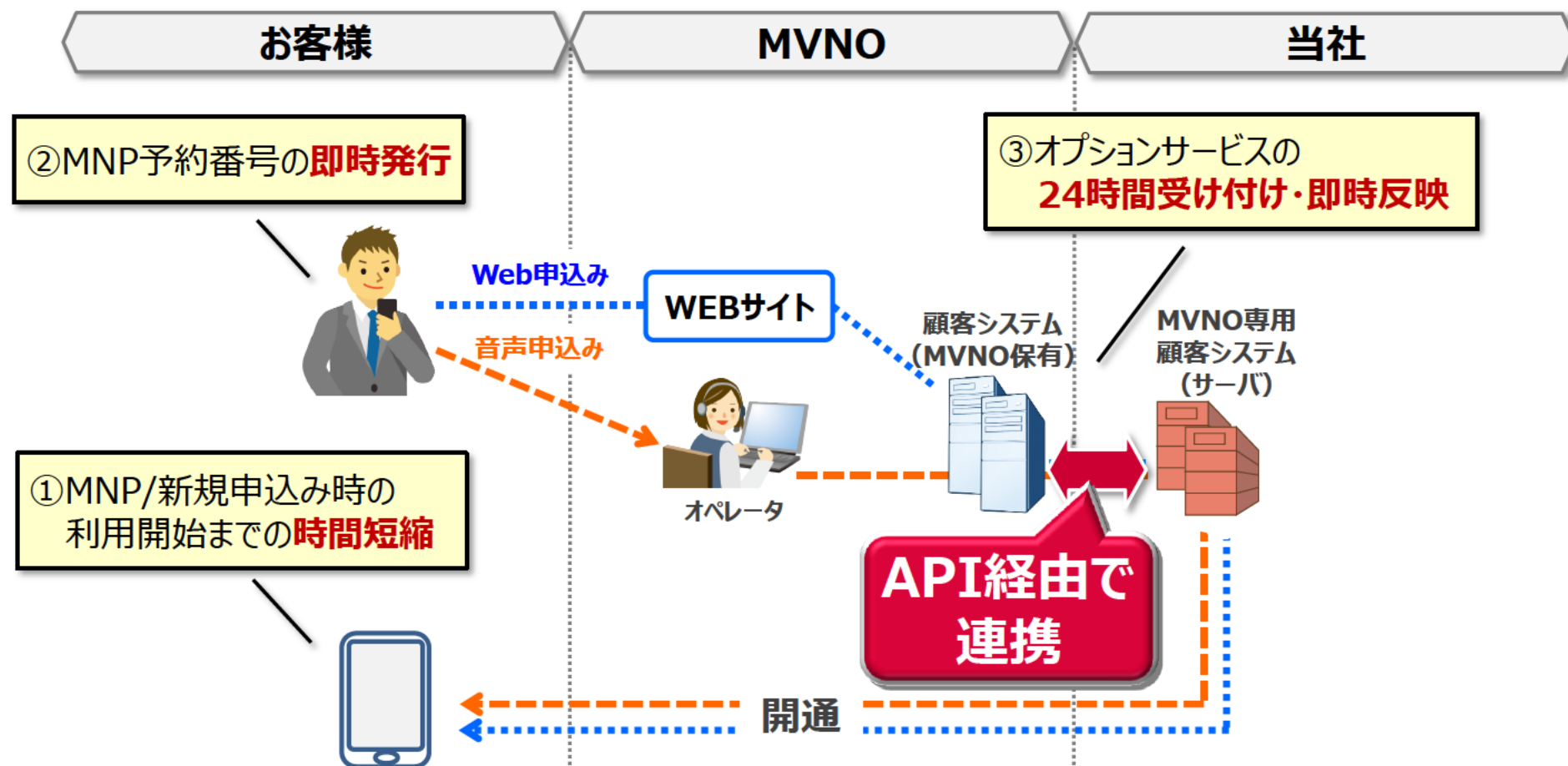
- 当社は、前回のタスクフォース後も、**接続料の低廉化、HLR/HSS連携機能に係る事業者間協議の着実な進捗など、“MVNO市場の活性化”に取り組んできた**
- 今後も、MVNOからの各種要望について、真摯に協議を実施し、具体的なニーズを聞きながら、様々な観点から実現方法を検討していく



- HLR/HSS連携機能は、MVNOとの協議を通じて様々な観点から要望の実現方法の検討を行い、**2016年8月にIIJ殿と機能提供条件に合意し、開始に向けて進めている**
- 顧客システム連携についても、2016年度内に提供予定



- 顧客システムの連携により、MVNOの顧客システムから**各種受付処理等がワンストップで実行可能**となり、**MVNO及び利用者の利便性が向上**



いつか、あたりまえになることを。

NTT
docomo